

京 都 市 生 き 方 探 究
(キ ャ リ ア) 教 育
ス タ ン ダ ー ド



平成 28 年 3 月

京都市教育委員会

○ 定義

生き方探究（キャリア）教育とは
一人一人の社会的・職業的自立に向け
必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、
社会の中で自分の役割を果たしながら、
自分らしい生き方を実現していくことが
できるようにする教育である

○ 生き方探究教育でつきたい力

共生と自立	人とともに社会を生きる力 〔人間関係形成・社会形成能力〕	意見の違いや立場の違いを理解し柔軟に対応する力 自分の考えを正確に伝える力 地域や家庭での役割を果たし、共に生きる力 社会に参画し、貢献する力
	自分を知り、律する力 〔自己理解・自己管理能力〕	自分を理解し可能性を信じて主体的に行動する力 やりたいこと、できること、しなければならないことを理解する力 自分の考えを絶対視せず、感情をコントロールする力 現状に満足せず、達成感を次のステップの原動力として向上しようとする力
	課題を見つけ、解決する力 〔課題対応能力〕	様々なことに好奇心をもち視野を広げる力 身の回りや社会の事象から課題を見つける力 課題を分析し、適切な計画を立てて処理し、解決する力 よく考え意思決定をする力
	夢や希望をつくりあげる力 〔キャリアプランニング能力〕	学校での学びと社会のつながりを意識し意欲的に学ぼうとする力 グローバルな視野をもち、自分の将来を世界と結びつける力 働くことの意義を理解する力 生活設計をする力

○ 生き方探究教育3つの指針

- 1 体験を伴う学習プログラム
- 2 生き方探究教育の目標を意識した教科等の学習の推進
- 3 社会生活を送る上で必要な規範意識等の育成

未来を切り拓く「生きる力」の育成



生き方探究教育でつきたい力に関わるキャリア発達目標（例）

各学校段階			総合支援学校…個々の障害の状態に応じたきめ細かい指導・支援の下で行う					
			保育所・幼稚園	小学校			中学校	高等学校
				1・2年	3・4年	5・6年		
キャリア発達を促すポイント			様々な体験を通して、自分のできることを見つけ、人間関係の基礎を作り、働く人の姿にあらがれをもつこと	自分や他者への積極的関心を高めたり、身のまわりの仕事や環境への関心・意欲をもち向上させたりすることで、自分の夢や希望、あらがれる自己のイメージをもつとともに、仕事をするこゝ、働くことを重んじ、目標に向かって努力する態度			社会における自らの役割や生き方・働き方などを考え、将来の夢や希望に向けて計画的に取り組む態度	学校や学科の特色を生かした取組を通して、自己の将来を真剣に考え、それに必要な情報を取捨選択・集積・分析し、熟慮の上に責任を持った判断をする過程を経験すること
共生と自立	人とともに社会を生きる力	①人間関係形成能力	◆友だちと遊ぶことを楽しむ ◆気持ちの良いあいさつや返事を交わす心地よさを味わう	◆友だちの良さに気付く ◆お世話になった人に感謝する	◆お互いの良さを認め、協力して学習や活動に取り組む ◆自分の生活を支えている人に感謝する	◆自分と異なる考えや、人の優しさ、思いやりを理解する ◆相手の立場に立って考え、行動する	◆お互いの個性を尊重し、他者の長所や感情を理解する ◆人間関係の大切さを理解し、積極的に関係を築く	◆他者の価値観や個性を理解し、相手の意見を聴く ◆他者に働きかけ、自分の考えを正確に伝える
		②社会形成能力	◆集団に所属する楽しさや喜びを感じる ◆集団や家庭の中で、自分のできることを探してみようとする	◆友だちや集団とともに行動することの楽しさを知る ◆集団や家族の役に立つ喜びを知る	◆身近な集団の中で役割を考え行動する ◆地域の活動や家庭内で、自分ができる仕事を、責任をもってする	◆所属する集団や家庭のためにできることや役割を考え、行動する ◆身近な消費生活を中心に、経済のしくみを知る	◆集団の中での自分の役割を把握し、積極的に行動する ◆生活と経済活動の関連や金融の動きについて理解する	◆自分の置かれた状況を受け止め、環境に適応する ◆自分の役割を果たしつつ、他者と協力・協働する
	自分を知り、律する力	③自己理解能力	◆自分の好きなことやしたいことが分る ◆自分の思いや考えをもつ	◆自分の得意なことを見つけ、大切にすゝ ◆自分の思いや考えが言える	◆自分の良さを知り、得意なことを伸ばす ◆自分らしさを大切にする	◆自分の特長がわかり、長所を伸ばし、短所を改善しようと努力する ◆自分の興味・関心の傾向に気付く	◆自分の特長と将来の目標を結びつけて、方向性を考える ◆自己の職業的能力や適性を理解する	◆自分の能力・適性を的確に判断する ◆今後の自分自身の可能性を肯定的に捉える
		④自己管理能力	◆良いと思うことを進んでしようとする ◆約束の大切さに気付き、守ろうとする ◆良いことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する	◆良いことと悪いことがわかり、考えて行動する ◆約束や時間を守る	◆自分のやりたいこと、良いと思うことを考え、行動する ◆きまりや規則がわかり、してはいけないことや我慢しなければならぬことを自制する	◆自分の行動について自己判断・自己決定し、主体的に行動する ◆ルールやマナーを考えて行動する	◆社会規範やマナーなどの必要性を理解する ◆悩みやストレスをコントロールし、それらの問題を前向きにとらえ克服する	◆規範意識の必要性を理解し、自己の感情や行動を統制する ◆進路実現のために今取り組むべき課題を考え、自らを研鑽する
	課題を見つけ、解決する力	⑤課題発見能力	◆自分でできることを見つける ◆遊びや遊び方を自分で決めて、やってみようとする	◆自分と集団との関わりの中から課題を見つける ◆自分で課題を選ぶ	◆自分をとりまく地域社会の中から課題を見つける ◆根拠をもって課題を選ぶ	◆世の中に目を向け、自分の興味や能力に応じた課題を設定する ◆根拠をもって課題を選び、それを整理する	◆自分の役割を果たしていく上での課題を設定する	◆グローバルな視点で様々な情報を収集し、理解・選択する ◆物事を多角的・多面的に吟味し、その本質を追究する
		⑥課題解決能力	◆自分でできることをやり遂げようとする ◆自分なりに試したり、工夫したりして遊ぶ	◆知りたいことや興味のあることを本や図鑑でさがす ◆わからないことを尋ねながら解決する	◆見学したり、話を聞いたりして、情報を集める ◆自分の力で解決しようと努力する	◆インタビューしたり、ICTを活用したりして、必要な情報を集める ◆多様な方法を考え、主体的に解決する	◆計画を立て、解決策を検討する ◆様々な調査をしたり、資料を活用したりして、主体的に解決する	◆発見した課題について情報を整理・分析し、計画を立てる ◆他者と協働して検証・考察を行い、その結果を評価し、改善につなげる
	夢や希望をつくりあげる力	⑦キャリア形成能力	◆身近な仕事に興味・関心をもつ ◆働く人にあらがれをもつ	◆様々な役割があることを知る ◆身近で働く人々の様子が分る	◆役割の仕事などを通して、働くことの大切さや楽しさがわかる ◆様々な職業があることを知る	◆進んで役割を受けもち、責任を果たそうとする ◆職場見学などを通して、働くことの大切さや苦労がわかる	◆学校の学びと社会のつながりを理解し、今できることを行う ◆職場体験を通して、職業や生き方、勤労の意義や働く人々の思いを理解する	◆将来の予測が困難な変化の激しい社会で自分の将来像を考える ◆「働くこと」の意義を考え、進路実現のための諸条件を検討する
		⑧生活設計能力	◆自分でできることは自分ですゝ	◆学習や生活の目標を立てる	◆目標や計画を立てることの必要性がわかり、自分に合った目標や計画を立てる	◆振り返りに基づいて、より高い自己目標をもち、先を見通して計画的に行動する	◆働いて収入を得ることの意味を考え将来の生活設計について体験する	◆自らの生き方の中に「働くこと」を位置付けた将来設計を考える

※参考資料：「小学校キャリア教育の手引き<改訂版>」（平成 23 年5月）「中学校キャリア教育の手引き」（平成 23 年5月）「高等学校キャリア教育の手引き」（平成 23 年 11 月）「京都市キャリア教育スタンダード」（平成 24 年 2 月）

学校・幼稚園での取組（例）

○ 幼稚園 「やりたい」時を逃さない～楽器遊び（年長児）～

年長児になると、友達と同じ目的をもって遊ぶことを楽しむようになってきます。楽器遊びなどでも、3学期の頃にはより多くの友達と気持ちが合わさっていく喜びを感じることをねらい、学級や学年の皆で合奏に取り組んだりします。自分がしたい楽器を選んでいたら、周りを気にしすぎるあまり、自分の思いをどう表現するか戸惑いを感じていた〇〇ちゃんが、「太鼓がしたい」と主張しました。演奏を始めると指揮をしっかりと見て大きな音で勢いよく太鼓を演奏します。最後の音を鳴らすと、ふうっと息をしました。「〇〇ちゃん、いい音が出ていたね」と声をかけると、「うん」とうなずき、表情がやわらぎました。自らの課題を選び達成していく経験を通して、自己肯定感や自信を高めていきます。日々の保育の一コマが生き方探究教育と言えるでしょう。

○ 小学校「町たんけん」「仕事たんけん」

小学校2年生の生活科では「町たんけん」を行います。自分たちの地域の様子や、自分たちが地域の人に支えられて生活をしていることに気づき、地域によりよくかわろうとする態度を育むことをねらいとした学習です。地域の自然の移り変わりや地域にある施設、店などについて調べます。地域の方や店の方にインタビューも行います。また、3年生や5年生の総合的な学習の時間で、「仕事たんけん」を行う学校があります。協力していただける地域の店で、半日から1日職業体験をします。



接客や商品ならべなど、店で働くことにより、仕事をするうえで大切にすることは何かを学びます。

○ 小学校「1/2 成人式」



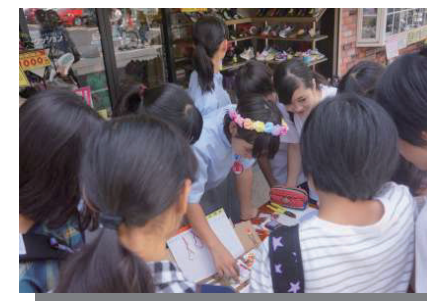
10歳を迎える小学4年生が、これまでの自分を振り返り、自分の将来について考えるきっかけとなる取組です。たとえば、身近な人にインタビューをしたり、得意なことや苦手なこと、長所や短所などを考えたりして、今の自分を見つめ直します。そのうえで、叶えたい夢や就きたい職業など、自分の将来の夢を実現するために何を学ばばよいか、どんな生き方をしていけばよいのかを考え、成長を支えてくれた人たちへの感謝とともに、発表を行います。子どもたちは、自分の将来に向けた夢や希望を意識し、その実現への意欲を高めます。

○ 小学校「アントレプレナーシップ教育」

起業家になるための教育ではなく、起業家の志や努力、姿勢等から自分の生き方を考える教育で、「起業家精神涵養教育」とも言います。起業家の生き方や志を様々な体験等から学ぶことで、①社会に貢献することの喜び、②失敗や困難に立ち向かう力（チャレンジ精神）、③誰かのために自分のしたいことを実行する力を育成することを目指します。

○ 中学校「バザー」

生徒が自ら商品やサービスを企画・製作し、販売をするバザーは、社会のしくみを直接に知ることのできる大切な体験です。ある中学校では地元の商店街との連携の下、チーフ、企画係、会計係、製作係、販売係などの役割分担をして、商品を開発し、商店街の店先を借りて販売をします。収益金は被災地の復興支援や国際支援活動などに使われます。アントレプレナーシップ（起業家精神）や職業観・勤労観について学び、班の仲間や地域の方々と積極的にコミュニケーションを図ることで、主体的に取り組む姿勢を育むことができます。



○ 総合支援学校「デュアルシステム」

デュアルシステムはドイツの職業教育で、週2～3日は学校で授業を受け、残り2～3日は職場実習を行いマイスター資格の認定を受けるものです。総合支援学校職業科では京都経営者協会の協力のもと、「デュアルシステム推進ネットワーク」を設置し、生徒が3年間で30週程度の実習を行うことを通して企業就労を目指しています。デュアルシステムは職業能力のより高い人材を育成し、また、生徒の働く意欲を高めるなど効果を上げています。

○ 高等学校「インターンシップ」



インターンシップとは、社会で求められる知識や技能について実感をもって学び、就業体験によって自らの適性について考え、進路選択につなげていくことのできる貴重な活動です。また、働く現場で大人と話したり、共同作業を体験したりすることで、社会で求められるルールやマナーを習得し、「基礎的・汎用的能力」を大きく伸ばすことも可能となります。洛陽工業高校及び伏見工業高校、京都工学院高校（平成28年度開校）では、2年生全員を対象に3日間インターンシップを実施し、就業体験を契機に、生徒自身が自らの言葉でキャリアについて語ることで、その後の成長や探索につなげていく教育実践を行います。

○ 高等学校「海外研修」

市立高校の代表生徒たちが、真の国際人として活躍していくために、英語力のみならず豊かなコミュニケーション力、国際的な教養を身につけることを目的にグローバルリーダー育成研修を実施しています。事前に英語力を高め、京都や日本文化への理解を深める研修を行い、2週間程度の海外研修を実施します。そこでは世界中の留学生と共に語学研修やフィールドワークを行い、様々な国の人との協働で課題を解決していくことで、多様な文化や価値観を理解し、コミュニケーションすることの大切さを学びます。生徒たちは、京都や日本の良さを海外に発信しながら、将来、グローバルリーダーとして活躍していくことを目指しています。



キャリアの視点をもった教科・領域の指導

○ 学校の学びと社会とのつながりを意識した学習意欲の向上

今、学んでいることが将来、社会に出てから役立つことに気付くと学習に目的意識が芽生え、主体的な学びとなり「学習意欲」が向上します。先生がキャリアの視点を持ち、授業の中で「これは、今、こんなところで使われているよ」、「これは将来、こんな時に役立つよ」と示すことで、学校での学びが社会とつながり、主体的な学びになります。

（中学校での例）将来、自動車会社に就職した時、会議で会社や社会に貢献できることを考えて提案しましょう。

国語科的

- ・テレビCMや新聞広告を見た人が車を買いたくなるようなコピー（言葉）を考えましょう。
- ・販売店でお客様が気持ちよく話ができるように敬語が使えるようにしましょう。

社会科的

- ・海外に車を輸出するために、どこにどんな国があるか、その国の政治や経済はどうかを調べましょう。
- ・車にかかる税金やエコカー減税などについて調べましょう。

数学科的

- ・原材料費、人件費、設備投資費などから販売価格を計算しましょう。
- ・車の性能を引き出すために燃費や空気抵抗を計算しましょう。

理科的

- ・環境に優しい車を開発するために排ガスの成分を分析しましょう。
- ・追突の衝撃を吸収する柔らかさと乗っている人を守る強さを兼ね備えたバンパーに適したポリウレタンについて調べましょう。

音楽科的

- ・テレビやラジオのCMを見たり聴いたりする人の印象に残るような音楽を探しましょう。
- ・車の中でもコンサート会場にいるような音響のカーオーディオについて考えましょう。

美術科的

- ・誰もが欲しくなるようなすてきな車、カッコよい車、かわいい車をデザインしましょう。
- ・見た人の目につき、そして車に興味を持ってもらえるようなポスターを作りましょう。

保健体育科的

- ・長時間乗っても体が痛くならないような体の構造にフィットするシートについて調べましょう。
- ・車の生産能力を上げるため、社員の健康や社内スポーツの奨励について考えましょう。

技術科的

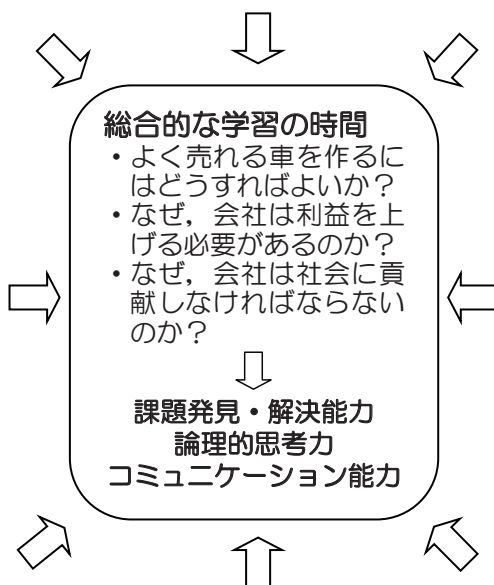
- ・環境に優しい車を作るため、クリーンな排気エンジンについて調べましょう。
- ・人為的なミスによる交通事故を無くすために自動運転のシステムを考えましょう。

家庭科的

- ・車の生産能力を上げるため、社員の健康を目指し、栄養を考えた食堂メニューを考えましょう。
- ・居住性を考えた車の中のインテリアを提案しましょう。

外国語科的

- ・輸出先相手国の人に車の性能や値段の交渉を英語でしましょう。
- ・外国の工場で車を生産するため、現地の人に英語で話しましょう。



※学習指導要領にない内容もあります。

京都市教育委員会 指導部 学校指導課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488

Tel 075-222-3851 Fax 075-231-3117

京都市教育委員会 京都まなびの街生き方探究館

〒602-8031 京都市上京区西洞院通下立売下る東裏辻町 402

Tel 075-253-0880 Fax 075-253-0878